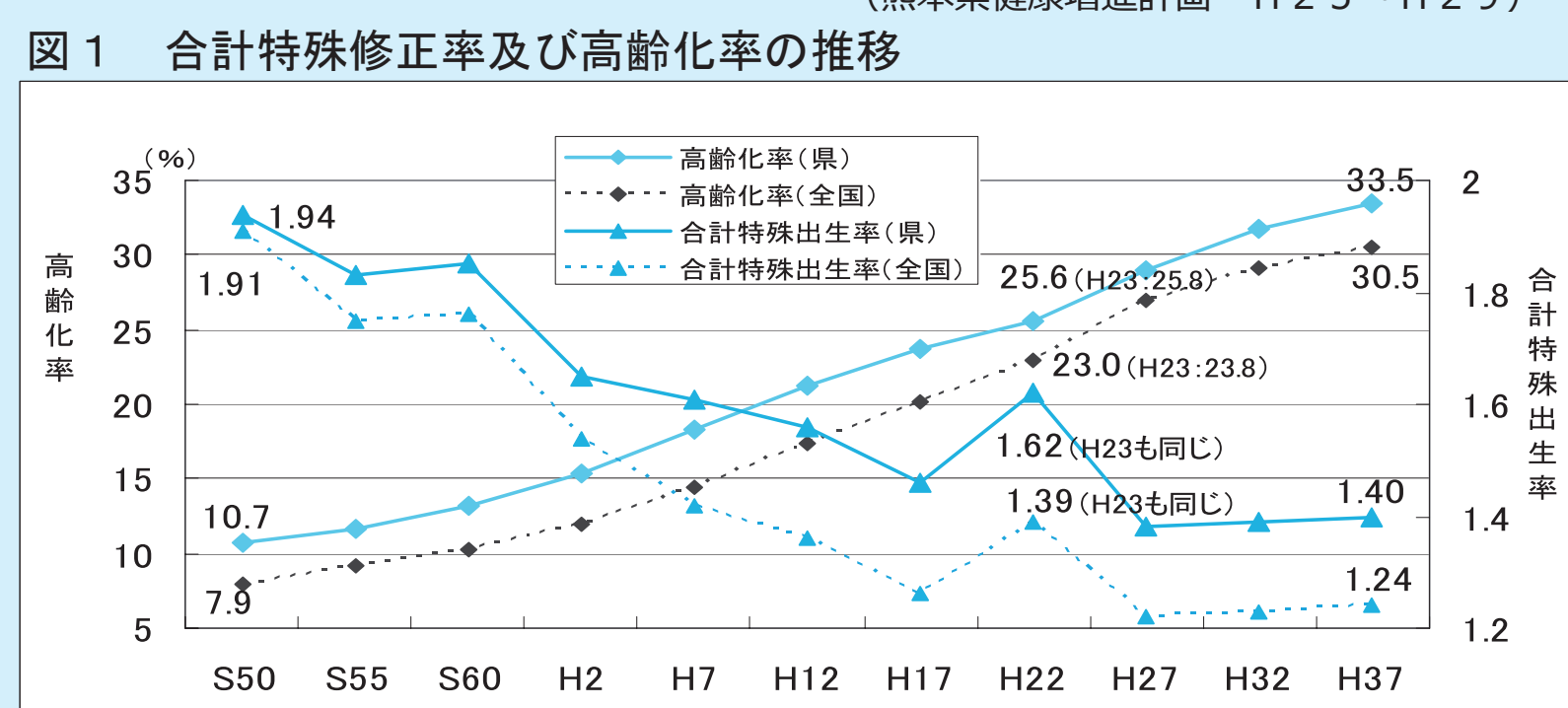


“人口データ分析から始める” 行政職員改革

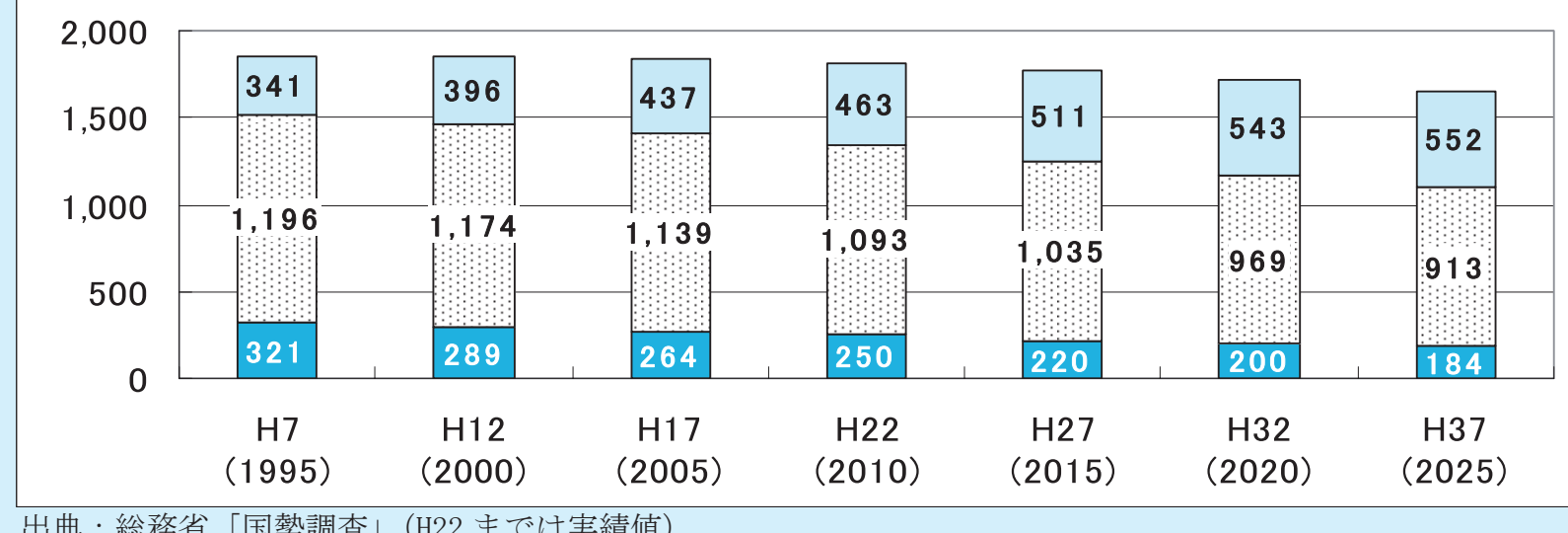
例えば、あなたの人口分析のコメントは「わが町は既に3人に1人が高齢者となった」で終わっていませんか？
報告書の1ページを作るための、前例踏襲的作業になりすぎている！！それ、もうやめましょう。

■第三次くまもと21ヘルスプランより

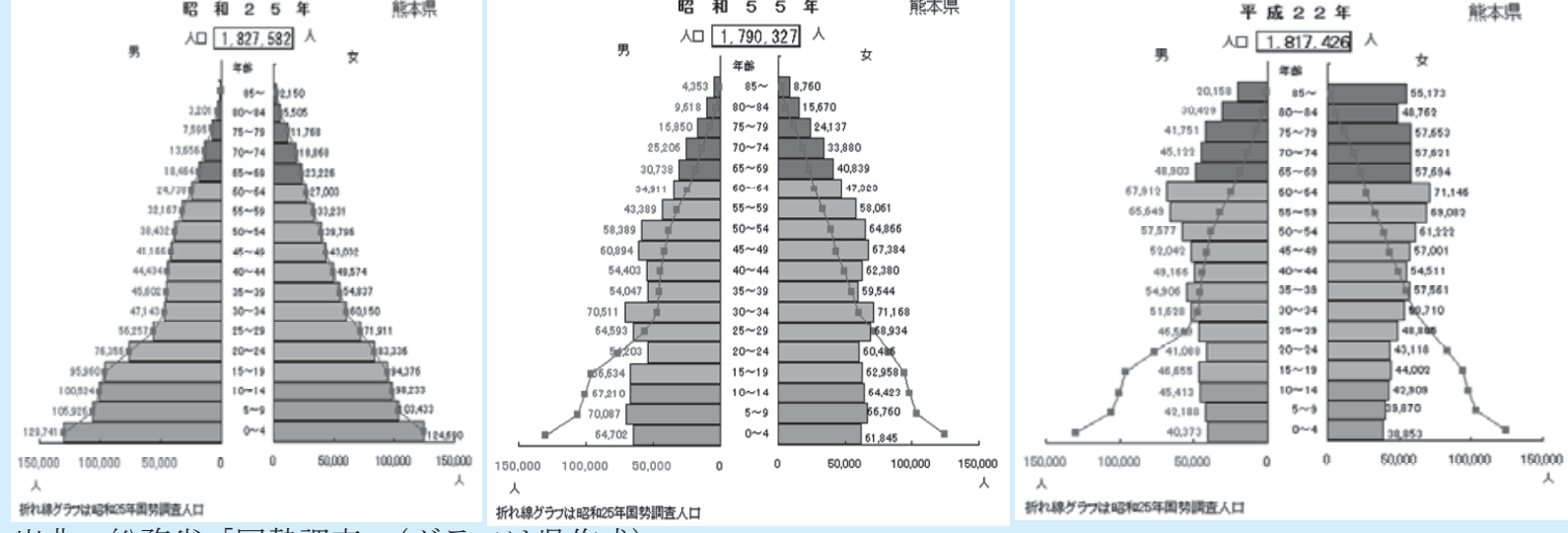


出典：総務省「平成22年国勢調査」、厚生労働省「平成23年人口動態調査（H23までは実績値）
国立社会保障・人口問題研究所資料「都道府県別老年人口の割合」「将来の合計特殊出生率」（H27年以降は推測値）

■玉東町健康増進計画（H23）



出典：総務省「国勢調査」（H22までは実績値）
国立社会保障・人口問題研究所資料「日本の都道府県別将来推計人口」（H27年以降は推測値）

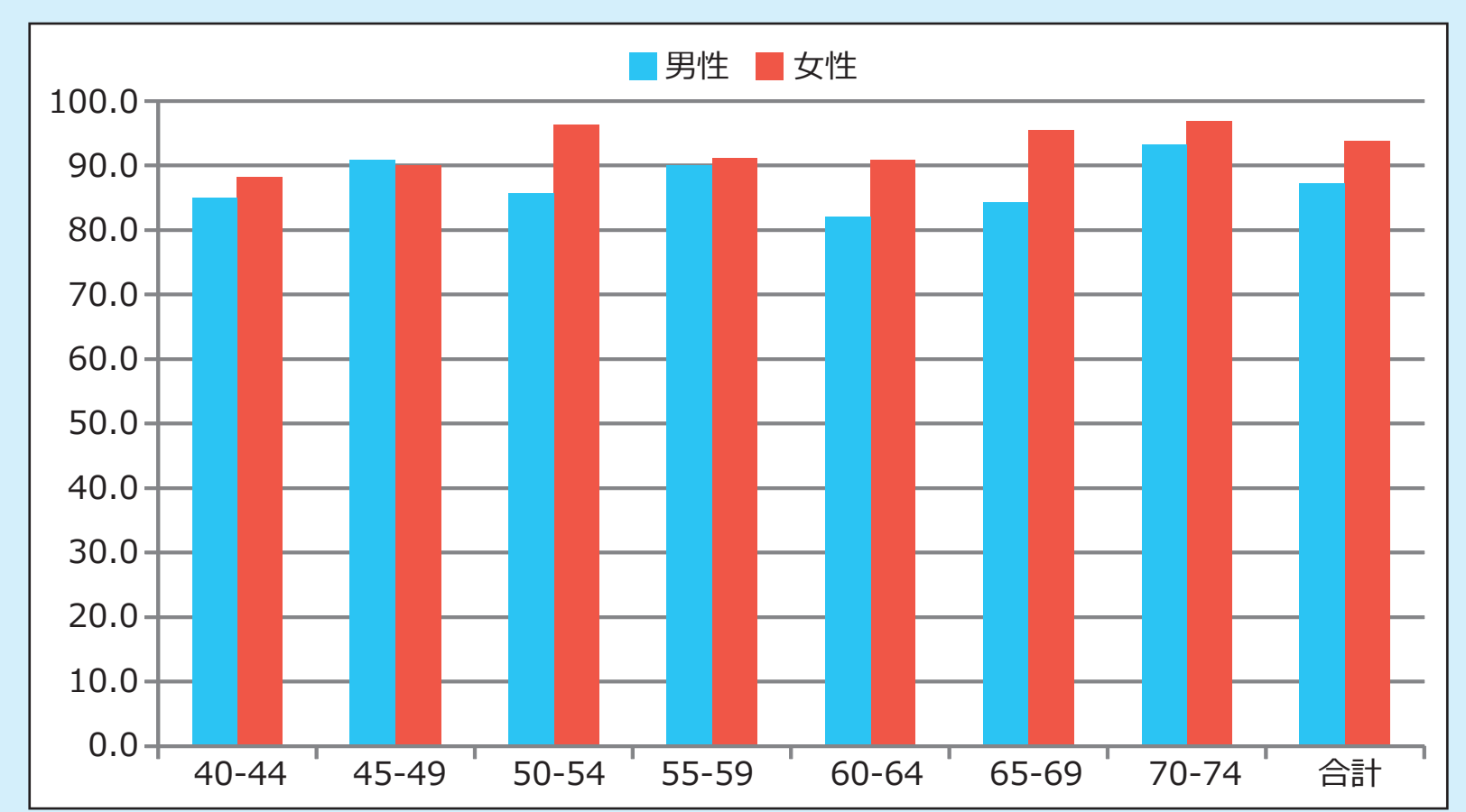


本県の合計特殊出生率は、平成23年1.62と全国平均1.39を上回っていますが、人口を維持する水準2.07を下回っており、依然として少子化が進行します。
また、高齢化率は全国平均より高く、平成23年には25.8%となり、4人に1人が65歳以上です。今後も少子高齢化は進行し、本県では全国より早く、平成37年には3人に1人が65歳以上になると考えられます（図1、2、3）。

(2) 働く世代のこころの健康づくり
健やかなこころを支える社会づくりを目指すためには、こころの健康を維持するための生活や、こころの病気への対応を多くの人が理解することが重要です。中でもうつ病は、こころの病気の代表的なものであり、多くの人がかかる可能性があります。自殺の背景にはうつ病が多く存在することも指摘されています。
こころの健康を守るために、ライフステージに応じたこころの健康対策に社会全体で取り組む必要があります。本県では、「熊本県自殺対策行動計画」によりその取り組みを推進しているところですが、こうした取り組みとも連携しながらこころの健康づくりを進めていきます。

■HbA1c 有所見者の男女別・年齢別割合

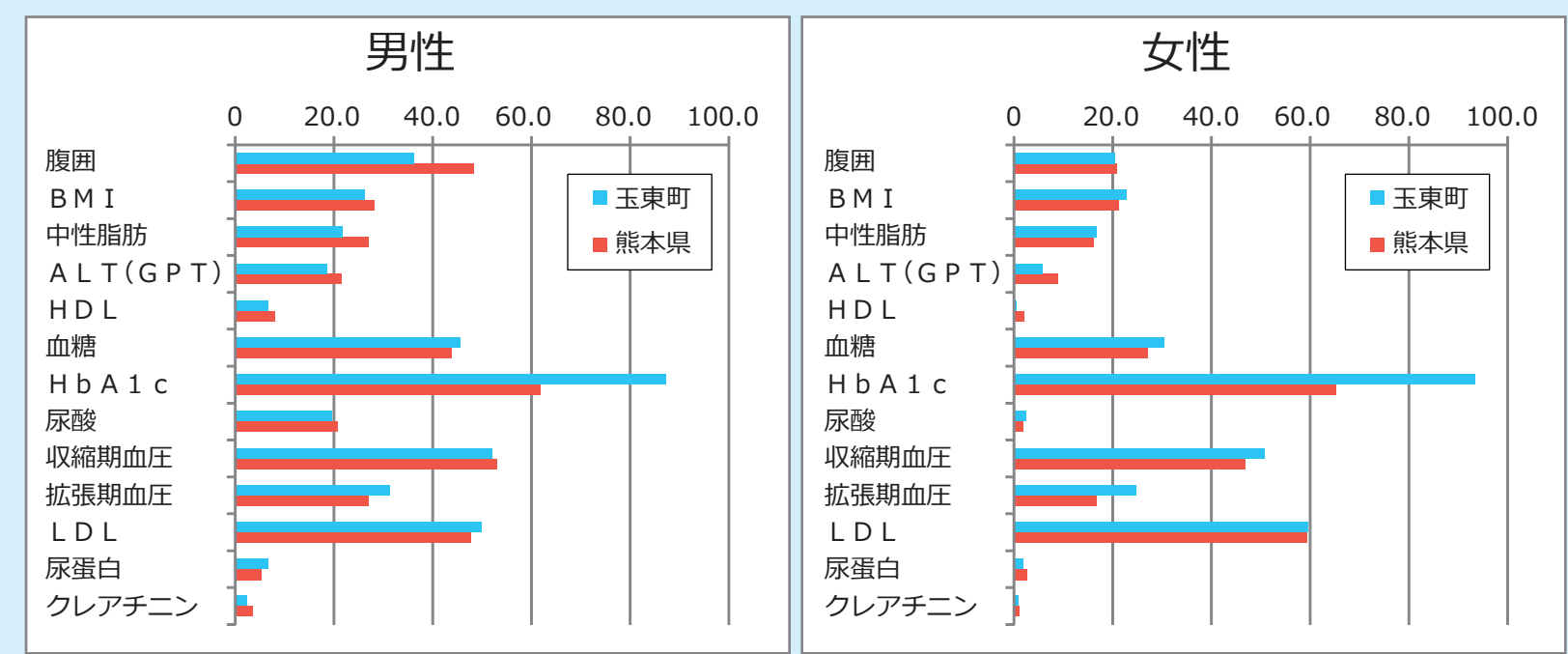
性別	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	合計
男性	85.0	90.9	85.7	90.0	82.0	84.3	93.2	87.3
女性	88.2	90.0	96.3	91.1	90.8	95.4	96.8	93.8
合計	86.5	90.5	90.9	90.7	87.3	90.6	95.2	90.9



性別に関わらずすべての年代で90%
家庭の食事の問題か？
だとしたら...

■特定健診結果の項目別有所見者の割合

分類	項目	玉東町		熊本県	
		男性	女性	男性	女性
摂取エネルギー	腹囲	36.3	20.5	48.3	20.8
	BMI	26.3	22.9	28.2	21.1
	中性脂肪	21.7	16.8	27.1	16.1
	ALT(GPT)	18.7	5.8	21.6	8.9
	HDL	6.7	0.5	8.0	2.1
血管を傷つける	HbA1c	87.3	93.4	61.9	65.2
	尿酸	19.7	2.4	20.8	1.9
動脈硬化要因	収縮期血圧	52.0	50.8	53.1	46.8
	拡張期血圧	31.3	24.7	27.0	16.8
臓器障害	LDL	50.0	59.5	47.7	59.4
	尿蛋白	6.7	1.8	5.4	2.6
	クレアチニン	2.3	0.8	3.5	1.0



発見 設定

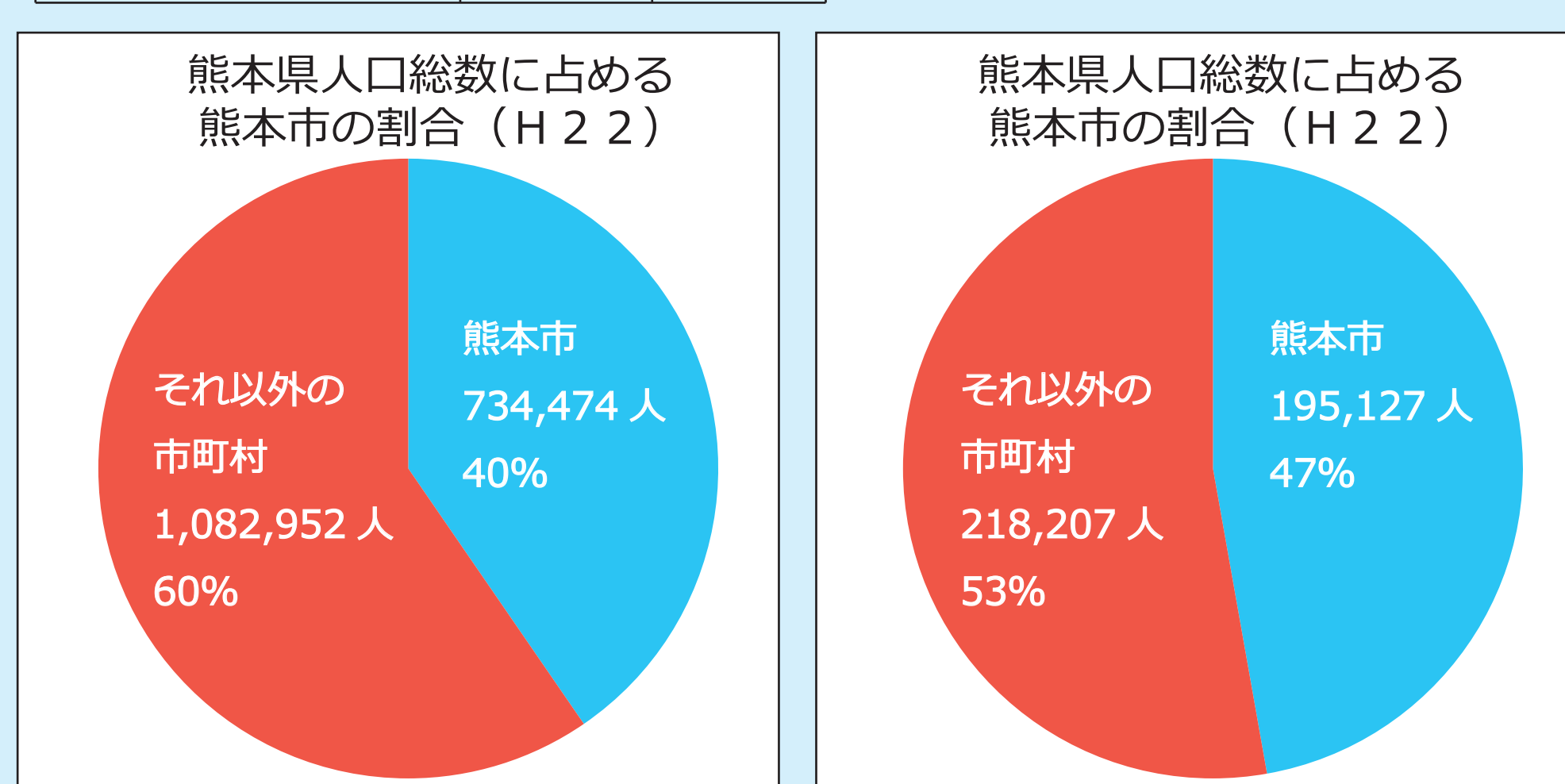
四十才になる前が大事。そのボリュームを知らずして計画できる？

健診手簿世代（19〜39歳）は、人口の何割を占める？

■新年齢区分で考えてみると！

■玉東町における健診手簿世代人口割合（2010年）

年齢区分	人数(人)	割合
総数	5,554	100.0%
～18歳	946	17.0%
健診手簿世代（19～39）	1,066	19.2%
40～74歳	2,640	47.5%
75歳～	902	16.2%



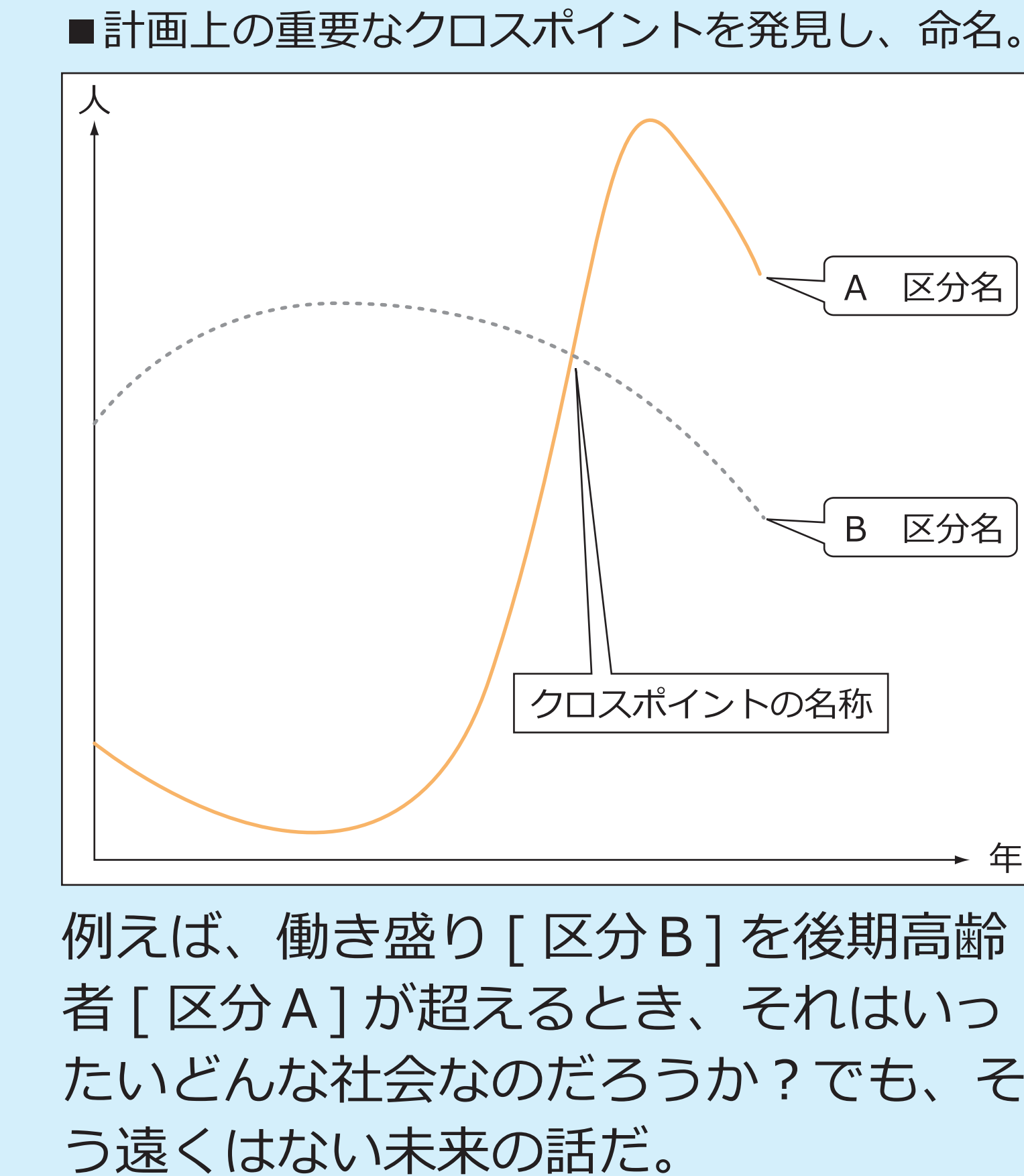
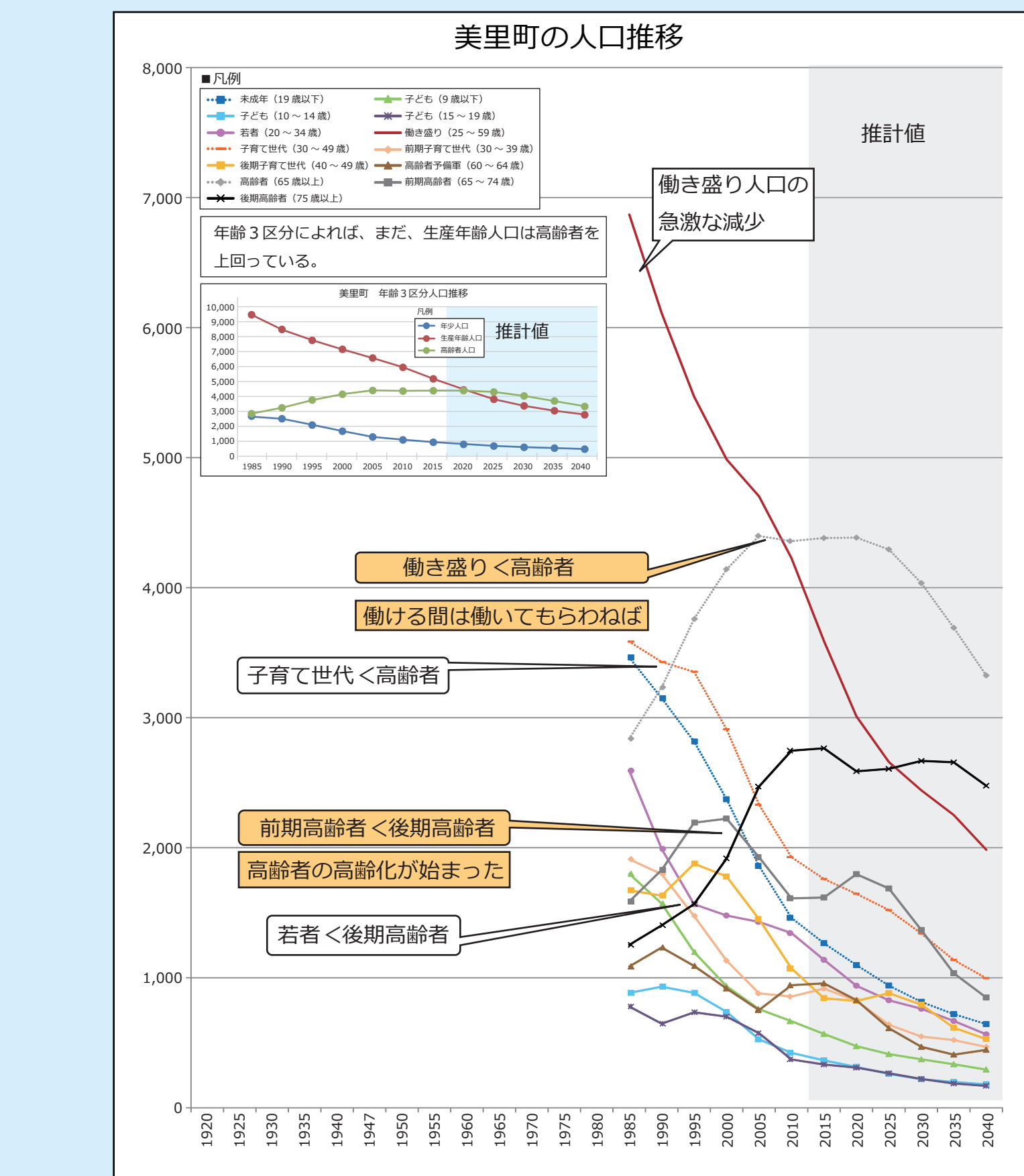
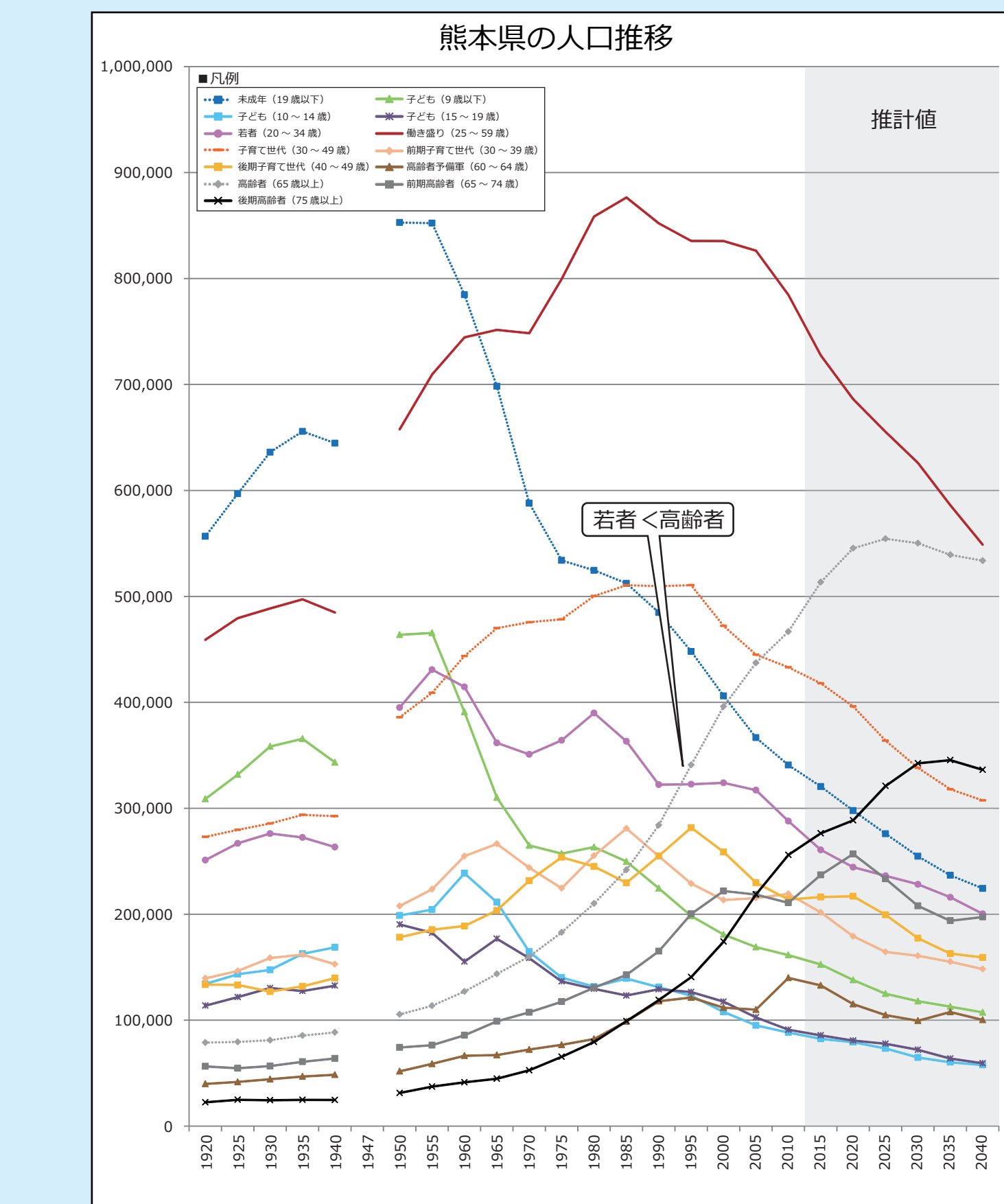
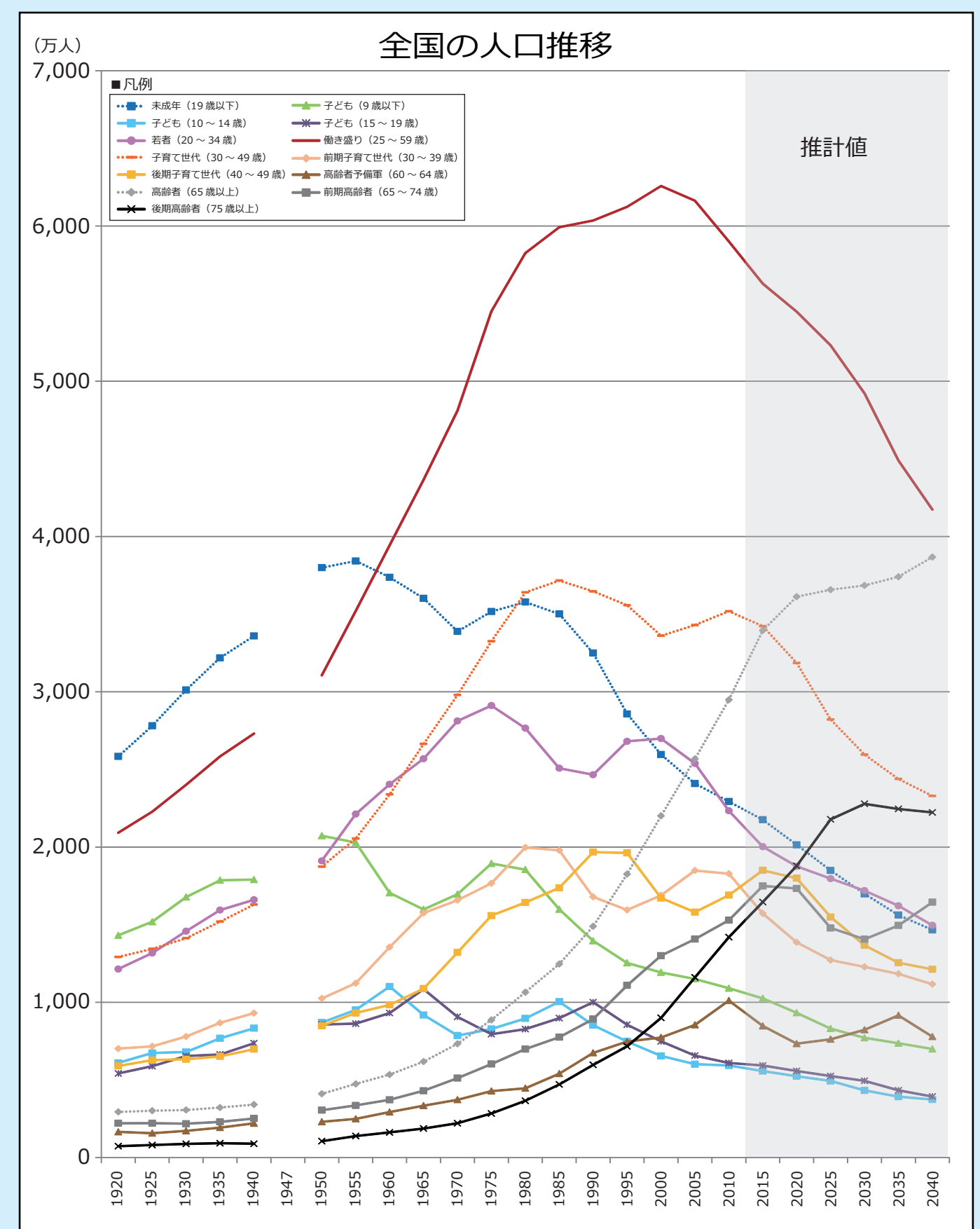
健診手簿世代へのアプローチにおいて、
熊本市の果たす役割は重要。
郡部においてはブロック単位で連携し、合同の取組
として行えばよいのではないかと？

年齢3区分ではこんな議論のネタは出て来ません。
有用な年齢区分を発見したら、それを他の自治体
がまねすれば良い。分析の方法や施策も共有すべ
ば良い。職員の自主的な情報の発信に期待する。

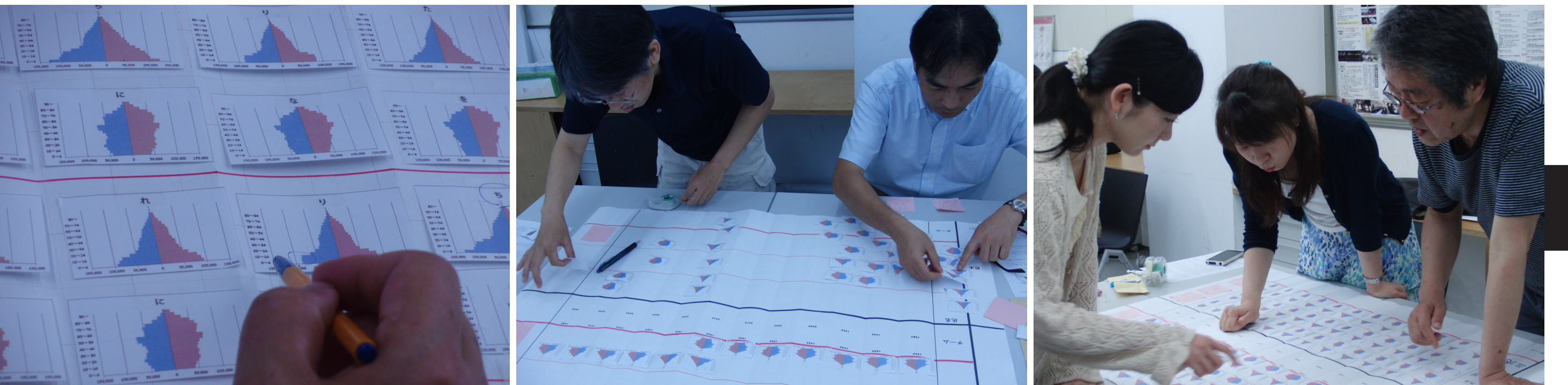
インターネット上で“新しい年齢区分”を用いた
分析結果などの情報をやり取りする交流サイトを
設けるのもよい。主体は熊本県が望ましい。

人口データ分析を楽しみながら学ぶ場を創ろう！！知ってました？熊本県の10年後の人口構成！！

区分はMECEでなくてもいいんです。



こんな勉強会（楽しんで学ぶ場）をやってみました。（熊大まちなか工房）

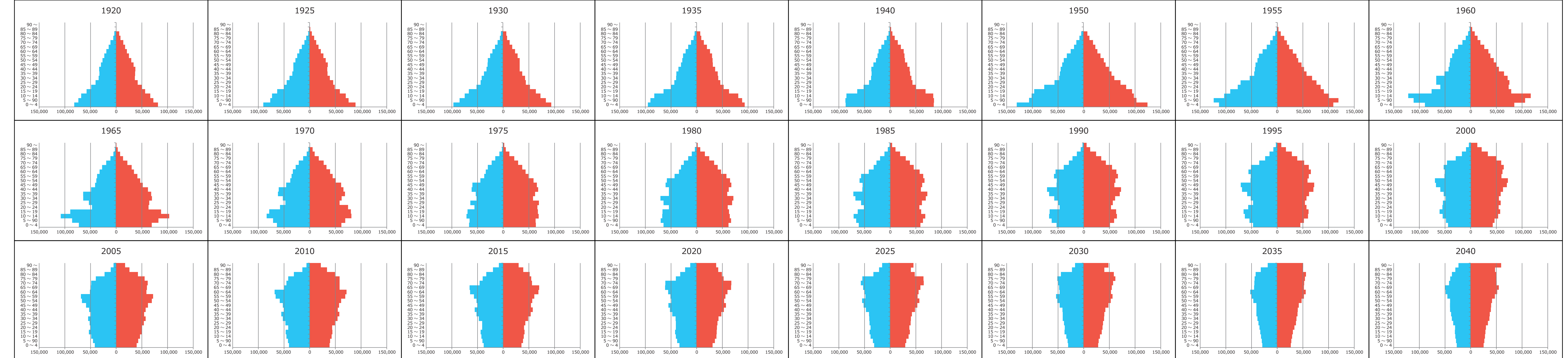


市町村はこんなこともするべきだ！

○アンケート結果の住民説明会
様々なアンケートの結果を、地区を回って説明する。
まずは庁内でそれをやる。とても重要なことだ。
OCPU(Community Processing Unit)の高性能化
データがわかる住民を増やし、グループを作る。データを見ることは目標実現のための第一歩だ。ダイエットだって毎晩体重でチェックするだけで、効果があるという。計画は8割方、住民にもできる。



■熊本県の人口ピラミッド 1920～2040（自分のまちのピラミッドを作ってみよう！！）



『年齢3区分プラスもう1つ区分の考えなさい』とのTOPの一言があれば変わる！